

記入例

本体価格の一番安価であった落札業者の見積書に「①」の記載をする

①

令和4年 2月20日

御見積書

漁安協 太郎 様

有効期限は、期限を表記しないか、期限切れとならない表記にする

納期：別途ご相談

支払条件：月末締め翌月末払い

有効期限：次回お見積まで

〇〇株式会社

〒〇〇〇-〇〇〇〇

住所

TEL

FAX

担当

下取りや値引きなどを必ず記載し、その金額を引いた本体価格を表示。別記様式と金額照合できる書き方に

下記のとおり、御見積もり申し上げます。

合計金額 ¥7,645,000 — (税込)

No.	摘要	数量	単価	金額
1	〇〇メーカー 船内機 機関名称 〇〇kW	1	5,200,000	¥5,200,000
	下取価格	1	-100,000	¥-100,000
	上記本体価格			¥5,100,000 ←導入予定金額
	同 消費税			¥510,000
	上記本体価格(税込)			¥5,610,000 ←導入予定費用額
2	付属品 1	1	250,000	¥250,000
	付属品 2	2	150,000	¥300,000
	付属品 3	1	100,000	¥100,000
				¥0
3	据付工事費	1	1,200,000	¥1,200,000
	小計			¥6,950,000
	消費税			¥695,000
	合計			¥7,645,000

付属品等の値引きに関しては、別途記載せず、直接値引いた金額を記載する

付属品だけの値引は認められない。値引・下取は全て本体価格から差し引いた金額が助成対象としての本体価格

据付工事費の金額が確定しない場合は、「別途見積り」などの記載をする

備考

- ・前金処理に関しては、備考欄等にその旨を記載
- ・被代替機を納入業者に引取り(無償)または廃棄依頼する場合は、備考欄に「被代替機(機種名)は当社にて無償で引き取り(廃棄)します。」旨を記載してもらうこと。